

世界遺産

UNESCO The World Heritage
Ancient Capitals of Asuka and Fujiwara with NABUNKEN

飛鳥・藤原の宮都と奈文研

令和8年度 飛鳥資料館秋期特別展

2026.
10/9 fri -
12/13 sun

休館日 | 月曜日（ただし10/12〔月・祝〕と11/23〔月・祝〕は開館、翌平日休館）

開館時間 | 午前9時～午後4時30分（入館は4時まで）

入館料 | 一般350円、大学生200円

高校生及び18歳未満、70歳以上（年齢のわかるものが必要）は無料

※11/3〔火・祝〕は無料入館日

主催 | 独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館

後援 | 文化庁、奈良県、明日香村、橿原市、桜井市、世界遺産「飛鳥・藤原」協議会、朝日新聞社、NHK奈良放送局、近畿日本鉄道株式会社、奈良交通株式会社

奈良文化財研究所

飛鳥資料館

1956

飛鳥寺跡 1956～川原寺跡 1957～
大宮大寺跡 1973～法興寺跡 1974～

極寺跡 1957～飛鳥宮跡 1959～藤原宮跡 1969～飛鳥大宮跡跡 1972～
山田寺跡 1976～橿原寺跡 1979～高市古墳 1974～キトラ古墳 1983～

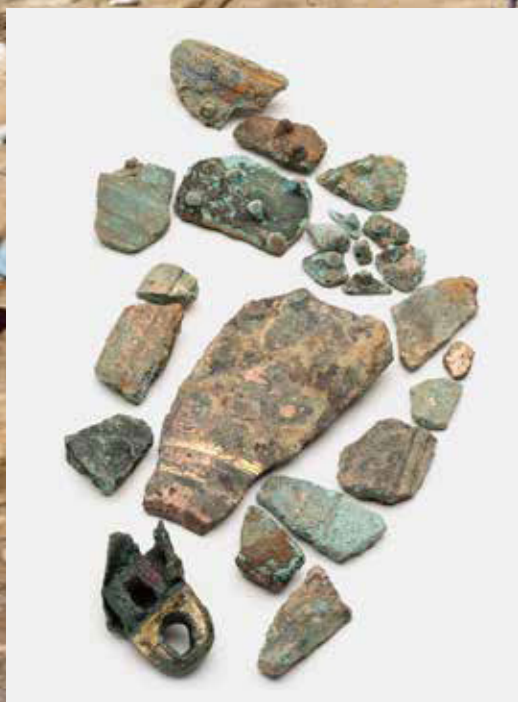
2026

今年、世界文化遺産に登録された「飛鳥・藤原の宮都」は、6世紀末期から8世紀初頭に、中国大陸・朝鮮半島との交流のもと、日本で初めて古代国家の宮都が誕生・成立したことを示す考古学的遺跡群です。奈良文化財研究所(奈文研)は、その構成資産19件のうち約3分の2の遺跡の調査に関わってきました。昭和31年(1956)から本格的な調査が始まった飛鳥寺跡を先がけとして、川原寺跡や飛鳥水落遺跡、高松塚古墳など、飛鳥・藤原地域の宮殿跡・仏教寺院跡・墳墓の調査研究を今日まで継続的にこなっています。

本展示では、70年以上の歳月をかけて奈文研が明らかにした「飛鳥・藤原の宮都」の遺跡の価値とその調査研究のあゆみを、実物の出土遺物や調査当時の生資料、最新の研究成果の展示を通して紹介します。古代国家誕生の舞台を解き明かしてきた諸先輩、そして、私たちの熱い思いに触れながら、飛鳥・藤原の宮都の歴史をお楽しみください。

檜隈寺跡出土軒瓦

飛鳥水落遺跡出土土器



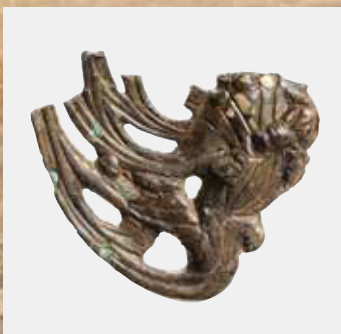
大官大寺跡・飛鳥寺跡出土風鐸



檜隈寺跡出土金銅製飛天



山田寺跡出土金属製品



暗箱カメラ

〈関連企画〉

【世界遺産登録記念 奈良文化財研究所・奈良県立橿原考古学研究所共同公開講演会】

◎「古代都城のはじまり―飛鳥・藤原」の宮都」

◆奈良会場|11/3【火・祝】午後0時30分 会場|奈良県社会福祉総合センター 大ホール

◆東京会場|11/15【日】午後0時30分 会場|有楽町朝日ホール

*両会場とも事前申込制

【飛鳥資料館講演会】

◎「世界遺産「飛鳥・藤原の宮都」―その価値と魅力―」

講師|木下正史(奈良文化財研究所名誉研究員・東京学芸大学名誉教授)

日時|10/11【日】午後2時 会場|飛鳥資料館講堂

◎「壁画古墳の周辺―飛鳥に関わって半世紀―」

講師|猪熊兼勝(奈良文化財研究所名誉研究員・京都橘大学名誉教授)

日時|10/24【土】午後2時 会場|飛鳥資料館講堂

【ギャラリートーク】10/22【木】・11/12【木】・11/28【土】・12/12【土】 午前10時・午後2時 展示室にて

【ウォークイベント】関連する遺跡を展覧会担当者と巡ります。10/29【木】・12/5【土】

【サテライト会場】奈良文化財研究所 藤原宮跡資料室 奈良県橿原市木之本町94-1 TEL 0744-24-1122

*詳細は本展 HP をご覧ください。



〈交通案内〉

○近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から 明日香周遊バス(赤かめ)で「明日香奥山・飛鳥資料館西」下車。○近鉄・JR桜井駅から奈良交通バス(35系統:万葉文化館行)で「飛鳥資料館」下車。

奈良文化財研究所

飛鳥資料館

〒634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山601

TEL 0744-54-3561

HP <https://www.nabunken.go.jp/asuka>